

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	忍の未裔
	オプション		年齢	16歳	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	吸血	初期侵食率	37%	
出自	兄弟	経験	仲間の死	邂逅	先輩：天羽カノン	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	2			7	行動値	20
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	20
精神	1	0	0			1	戦闘移動	25
社会	2	0	0			2	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
回避(80≤X<100)	白兵	9r+11				C値7 コスト3
回避(100≤X≤130)	白兵	10r+11				C値7 コスト3
		0				
《破壊の爪》(～160)		0	1	Y		タイミング：マイナー コスト3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
三雲玲	P 純愛	N 不快感			
如月クロム	P 誠意	N 不安			
天羽カノン	P 尊敬	N 隔意			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
亜純血	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	4		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
先手必勝	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	【行動値】+[Lv*3]							
スピードフォース	1	4	イニシ	至近	自身	自動	ピュア	
効果：	未行動時のみ使用可 シナ/Lv回							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	素手変更 攻撃力[Lv*2+8]							
ハンティングスタイル	3	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動 離脱可 シ/Lv回							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果：	2回行動 C値+1 シナ/1回							
コンセ：Ha	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-Lv(下限7)							
大裁断	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	攻撃力+[Lv*3]							
切り払い	1	1	リアク	至近	自身	対決	-	
効果：	〈白兵〉で回避可							
リフレックス：Ha	2	2	リアク	至近	自身	-	-	
効果：	C値-Lv(下限7)							
軽功	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	壁や水の上を走れる							
体型維持	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	理想の体型を維持							
効果：								
効果：								

UGN日本支部所属のチルドレン。

両親と兄との4人家族でオーヴァードとは縁の無い生活を送っていたが、ジャームによる両親の殺害現場を目の当たりにしたことで覚醒。眼前の化物をスタスタに引き裂き両親の仇をとるも、これまでのように「あちら側」にいられる筈もなく、UGNに所属する運びとなったのが10年前である。純粋培養ではないもののチルドレン第四期生にあたる。

現在は、事件以前よりオーヴァードであった兄と日本支部近くのマンションに同居しつつ、日常生活の傍ら任務をこなしている。通学はしていないものの、UGNでの教育により一般常識は持ち合わせている。

獣化形態はハヤブサ。ハヌマーンの先天性亜純血であるために《完全獣化》することはできず、その能力は四肢を猛禽の足のように変形させる、背面・臀部からそれぞれ主翼・尾翼を生やすといった程度に留まっている。とはいえ飛行は問題なく行なえる上「(完全な)鳥(の姿)になれてもね。服とかどうすんの」との言からも、不満は特に無いようだ。

戦闘のメインは足技。引き裂く・蹴るといったことは勿論、(掴んで)投げる・叩き付けるといった猛禽ならではの技も持ち合わせている。また一瞬の隙を突き素手で眼球・耳・鼻・指といった局所を抉り取ることも可能であり、対象を傷付ける手段には事欠かない。

周囲の人物が多数傷付けられてきたことからFH所属の人物、中でも自身の快樂のために他者を手にかける者に対しては容赦がない。また

- ・無駄を嫌う
- ・ぶっきらぼうに話しかける
- ・頻繁な語の省略により言葉足らずの感が強い

等から接し難いという印象を抱かれてしまうことが多いが、その実思慮深い。